

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	同志社女子大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ドウシヤジョシダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	近畿地方(大阪府を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ2(現代こども学科・外国語活動)
	学部・研究科等名	現代社会学部現代こども学科
	担当教職員名・役職	藤原 孝章 現代社会学部現代こども学科 特任教授
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	5
	受入企業等数	1
	受入企業等名	同志社国際学院初等部
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	3.その他
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	初等教育機関における授業補助を通じた教育実習体験
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	初等教育機関における担任業務の補助、授業における児童支援
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実習時間数(8週間のうち週1回、1日6時間)の確保とインターン実習での学びに関する中間及び最終報告会の実施、実習簿の提出、受け入れ教員の指導助言、担当教員の指導助言などから構成される
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	担当教員が実習先(受け入れ機関)において学習の成果に関する中間報告会に出向いている。最終報告会において学科の教員に対する成果についてのプレゼンテーションを義務付けている。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	受け入れ機関(初等教育機関)の学校教育課程の特色に関する講義を担当教員が行っている。また、受け入れ機関(初等教育機関)において学校の受け入れ体制、実習業務などについて事前説明を受けている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	最終報告会において学科の教員に対する成果についてのプレゼンテーションを義務付けている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	担当教員が実習先(受け入れ機関)において学習の成果に関する中間報告会に出向いている。最終報告会において学科の教員に対する成果についてのプレゼンテーションを義務付けている。
面	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	4.その他

要素④	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	聞き取りを行い、振り返りと今後の学びへの課題を明確にさせている。
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	聞き取りを行い、振り返りと今後の学びへの課題を明確にさせている。キャリアガイダンスなどで次年度生への紹介をさせている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間3カ月(うちインターンシップ実施日数11日間)
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受け入れ先の初等教育機関における1日実習(始業から終業までの担任および教科の授業に関する補助、児童への支援)が8日間、行事参加、事前学習、中間報告、最終報告など合計11日間。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターン期間中の受け入れ機関の担当者による指導助言
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://kyomu-web.dwc.doshisha.ac.jp/cam3/top.do
問い合わせ先	大学等名	同志社女子大学
	担当部署名	現代社会学部事務室
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	0774-65-8543
	メールアドレス	gensha-t@dwc.doshisha.ac.jp